

第2章 釜石市水産業の現状と課題

2-1 主要指標別釜石水産業の現状と課題

1. 漁業協同組合

釜石市内の3漁業協同組合（以下、「漁協」と示す）（釜石東部、釜石湾、唐丹町）では、組合自営の定置網漁業と養殖漁業のほか、沿岸漁船漁業、採介藻漁業を営んでいます。

釜石市内には釜石東部、釜石湾、唐丹町と3つの漁協があり、釜石東部漁協は昭和49年に箱崎、白浜、両石、鵜片浦の4漁協の合併により設立され、釜石湾漁協は平成15年に釜石、平田、白浜浦の3漁協の合併により設立されました。また、唐丹町漁協は花露辺、本郷、小白浜、大石の4地区の漁業地区から成ります。釜石市内の3漁協と範囲、15漁港は下表のとおりです。

3漁協とも、主に組合自営の定置網漁業や沿岸漁船漁業（延縄、刺網、かご、船曳き網、いか釣り等）、養殖漁業（わかめ、こんぶ、ほたてがい、かき、ほや）、採介藻漁業（あわび、うに、海藻等）が営まれています。定置網や沿岸漁船漁業の主な漁獲物は3漁協ともに、秋さけ、ぶり、さば、ひらめ、かれいなどがあります。

釜石市内の3漁協は、東日本大震災により漁港や漁業関連施設（養殖施設、定置網、漁具倉庫、作業倉庫、定置番屋、洗浄施設、ふ化場等）及び漁協事務所に壊滅的な被害を受けましたが、国等の補助事業を活用した災害復旧事業によりこれらの施設はほぼ全て復旧しています。また、漁業者の住宅等の生活基盤については、早期完成を目指して整備を進めています。

表 2-1-1 釜石市内の各漁協と構成地区及び漁港一覧

漁協名	構成地区	所属漁港名	漁港種別	漁港管理者	備考
釜石東部 漁業協同組合	室浜	室浜漁港	第1種漁港	釜石市	
	片岸	片岸漁港	第1種漁港	釜石市	
	根浜 箱崎	箱崎漁港	第2種漁港	岩手県	
	箱崎白浜	白浜(鵜)漁港	第2種漁港	岩手県	
	仮宿	仮宿漁港	第1種漁港	釜石市	
	桑の浜	桑の浜漁港	第1種漁港	釜石市	
	両石	両石漁港	第2種漁港	岩手県	
釜石湾 漁業協同組合	釜石	釜石漁港	第3種漁港	岩手県	
	嬉石	嬉石漁港	第1種漁港	釜石市	
	平田	平田漁港	第1種漁港	釜石市	
	尾崎白浜	白浜(釜)漁港	第1種漁港	釜石市	
	佐須	佐須漁港	第1種漁港	釜石市	
唐丹町 漁業協同組合	花露辺 本郷	唐丹漁港	第2種漁港	岩手県	
	小白浜	小白浜漁港	第2種漁港	岩手県	
	片岸				
	荒川				
	大石	大石漁港	第1種漁港	釜石市	

※各漁協、構成地区は次ページのとおり。

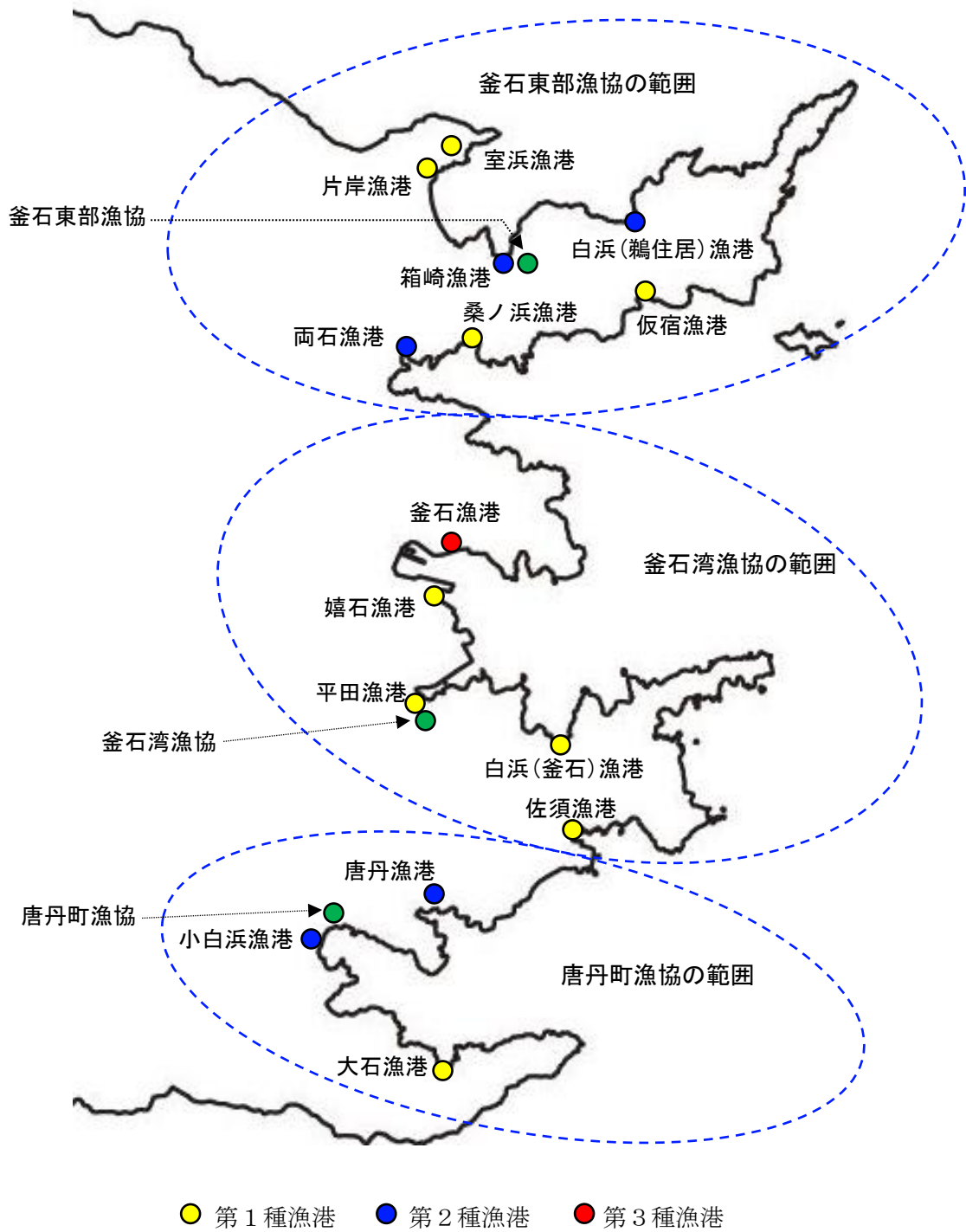
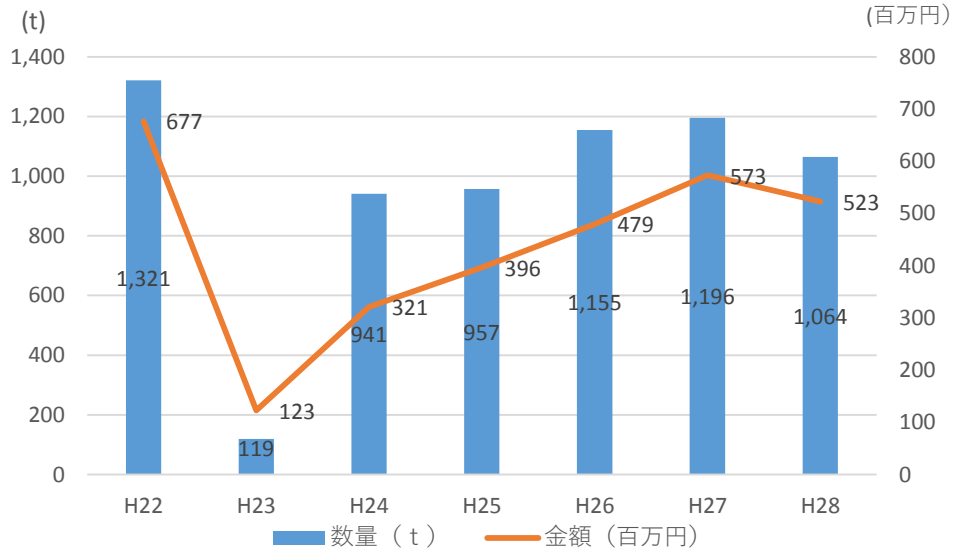


図 2-1-1 釜石市内の 3 漁協、15 漁港の配置

(1) 釜石東部漁協

① 販売事業

平成 28 年の販売事業は、1,064 t、5 億 23 百万円であり、震災前の平成 22 年と震災後の平成 28 年を比較すると数量で 80.5%、金額で 77.3%までの回復にとどまっています。

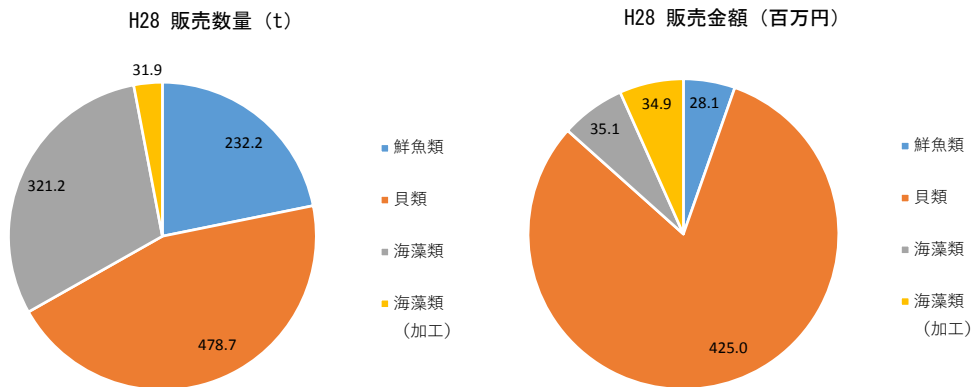


資料一釜石東部漁協業務報告書

図 2-1-2 漁協販売事業数量、金額の推移

表 2-1-2 近年の販売事業数量、金額の比較

品目	数量 (kg)			金額 (円)		
	H27	H28	増減	H27	H28	増減
鮮魚類	337,839.10	232,220.10	▲ 105,619.00	31,298,538	28,095,511	▲ 3,203,027
貝類	448,463.05	478,719.95	▲ 30,256.90	485,846,058	425,037,762	▲ 60,808,296
海藻類	374,587.00	321,248.70	▲ 53,338.30	35,625,244	35,105,009	▲ 520,235
海藻類 (加工)	35,367.40	31,859.80	▲ 3,507.60	20,305,232	34,909,202	▲ 14,603,970
計	1,196,256.55	1,064,048.55	▲ 132,208.00	573,075,072	523,147,484	▲ 49,927,588

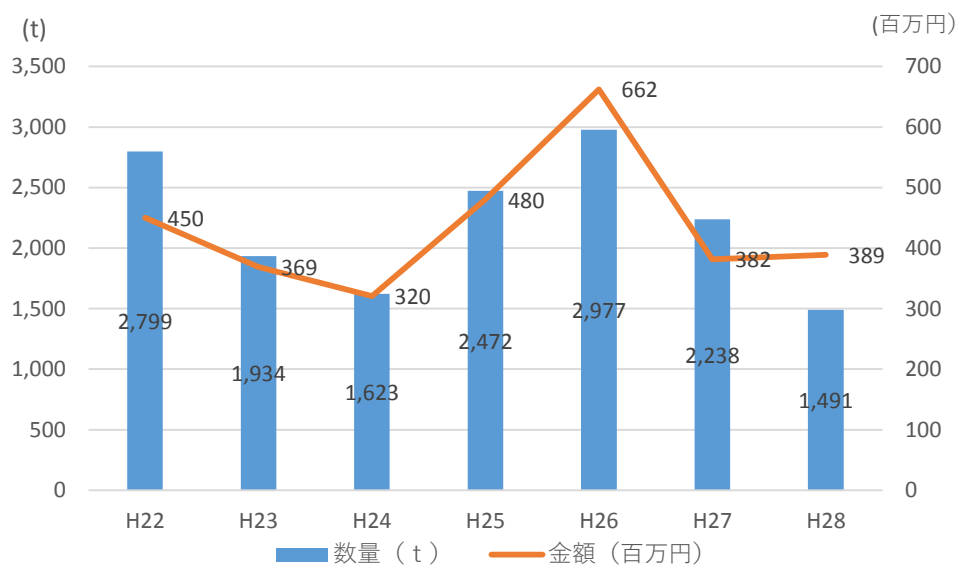


資料一釜石東部漁協業務報告書

図 2-1-3 平成 28 年の漁協販売数量、金額の内訳

② 定置網水揚（汐折、三貫、三丁目、四丁目）

平成 28 年の定置網水揚は、1,491 t、3 億 88 百万円であり、震災前の平成 22 年と震災後の平成 28 年を比較すると数量で 53.2%、金額で 86.4%までの回復にとどまっています。



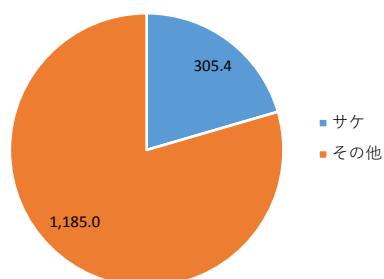
資料一釜石東部漁協業務報告書

図 2-1-4 漁協自営定置網漁業の水揚数量、金額の推移

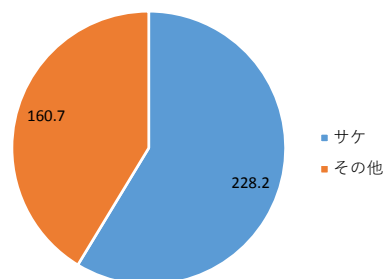
表 2-1-3 近年の自営定置網漁業の水揚数量、金額の比較

漁場	品目	数量 (kg)			金額 (円)		
		H27	H28	比較	H27	H28	比較
汐折	さけ	8,431.0	13,163.1	▲ 4,732.1	5,059,502	10,924,717	▲ 5,865,215
	その他	1,305,532.0	674,375.9	▲ 631,156.1	116,406,443	53,844,390	▲ 62,562,053
	小計	1,313,963.0	687,539.0	▲ 626,424.0	121,465,945	64,769,107	▲ 56,696,838
三貫	さけ	70,848.0	81,917.2	▲ 11,069.2	45,378,435	62,977,438	▲ 17,599,003
	その他	263,437.0	233,400.1	▲ 30,036.9	37,559,740	38,018,011	▲ 458,271
	小計	334,285.0	315,317.3	▲ 18,967.7	82,938,175	100,995,449	▲ 18,057,274
三丁目	さけ	122,216.0	105,336.2	▲ 16,879.8	75,029,505	72,628,834	▲ 2,400,671
	その他	99,438.0	81,419.8	▲ 18,018.2	23,000,161	32,326,469	▲ 9,326,308
	小計	221,654.0	186,756.0	▲ 34,898.0	98,029,666	104,955,303	▲ 6,925,637
四丁目	さけ	75,225.0	104,961.7	▲ 29,736.7	46,225,986	81,638,739	▲ 35,412,753
	その他	292,338.0	195,810.1	▲ 96,527.9	32,947,885	36,479,855	▲ 3,531,970
	小計	367,563.0	300,771.8	▲ 66,791.2	79,173,871	118,118,594	▲ 38,944,723
合計		2,237,465.0	1,490,384.1	▲ 747,080.9	381,607,657	388,838,453	▲ 7,230,796

H28 定置網水揚数量 (t)



H28 定置網水揚金額 (百万円)

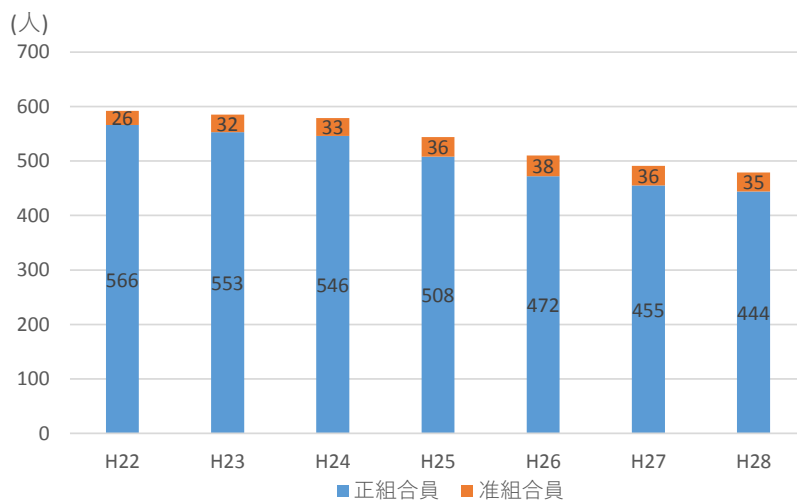


資料一釜石東部漁協業務報告書

図 2-1-5 平成 28 年の自営定置網の水揚数量と金額の内訳

③ 組合員数

平成 28 年の組合員数は、479 人であり、震災前の平成 22 年の 592 人と震災後の平成 28 年を比較すると減少傾向（113 人減）にあります。



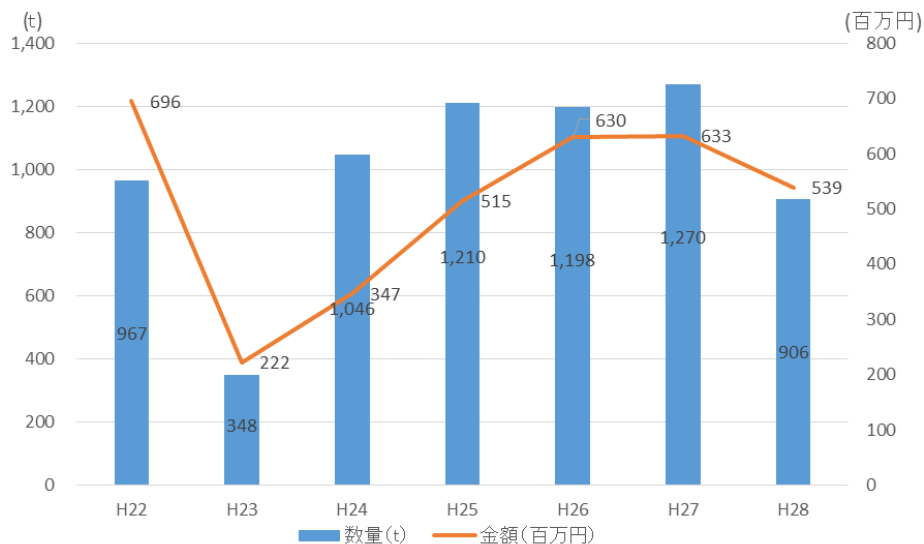
資料－釜石東部漁協業務報告書

図 2-1-6 組合員数(正・准)の推移

(2) 釜石湾漁協

① 販売事業

平成 28 年の販売事業は、905 t、5 億 39 百万円であり、震災前の平成 22 年と震災後の平成 28 年を比較すると数量で 93.6%、金額で 77.5%までの回復にとどまっています。

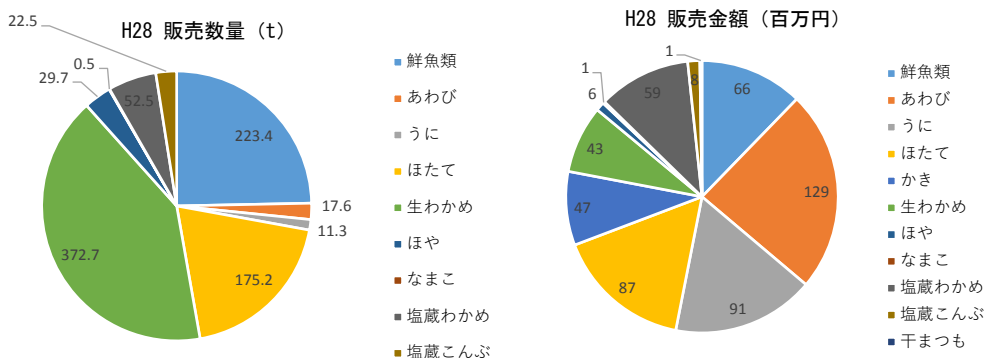


資料－釜石湾漁協業務報告書

図 2-1-7 漁協販売事業数量、金額の推移

表 2-1-4 近年の販売事業数量、金額の比較

品目	数量(kg)			金額(円)		
	H27	H28	増減	H27	H28	増減
鮮魚類	261,420.5	223,406.7	▲ 38,013.8	50,475,389	66,058,114	15,582,725
あわび	27,275.2	17,609.8	▲ 9,665.4	289,338,124	128,787,273	▲ 160,550,851
うに	12,604.7	11,328.8	▲ 1,275.9	90,314,098	91,213,905	899,807
ほたて	206,861.0	175,184.0	▲ 31,677.0	99,301,262	86,943,019	▲ 12,358,243
かき	(747,037個)	(735,652個)	(▲11,385個)	48,350,556	47,194,117	▲ 1,156,439
生わかめ	668,639.0	372,681.0	▲ 295,958.0	64,548,156	43,299,009	▲ 21,249,147
ほや	20,622.0	29,716.0	9,094.0	4,854,671	5,570,188	715,517
なまこ	2,299.3	548.0	▲ 1,751.3	5,141,760	1,258,400	▲ 3,883,360
塩蔵わかめ	46,830.0	52,530.0	5,700.0	34,176,786	59,373,272	25,196,486
塩蔵こんぶ	23,745.0	22,500.0	▲ 1,245.0	4,322,783	7,703,382	3,380,599
干まつも	(9,020枚)	(3,895枚)	(▲5,125枚)	2,671,800	1,363,250	▲ 1,308,550
計	1,270,296.7	905,504.3	▲ 364,792.4	693,495,385	538,763,929	▲ 154,731,456

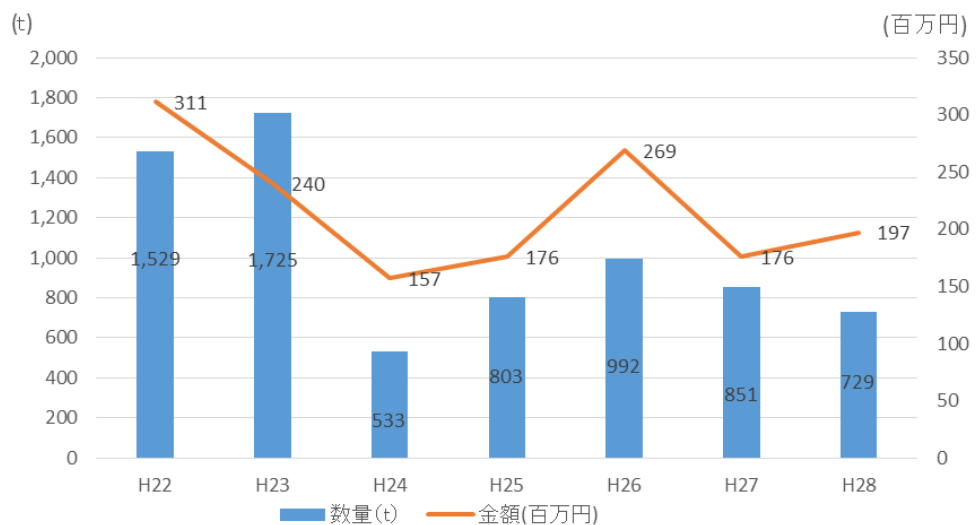


資料一釜石湾漁協業務報告書

図 2-1-8 平成 28 年の漁協販売数量、金額の内訳

② 定置網漁業水揚（沖網漁場、白崎漁場）

平成 28 年の定置網水揚は、728 t、1 億 97 百万円であり、震災前の平成 22 年と震災後の平成 28 年を比較すると数量で 47.6%、金額で 63.4%までの回復にとどまっています。

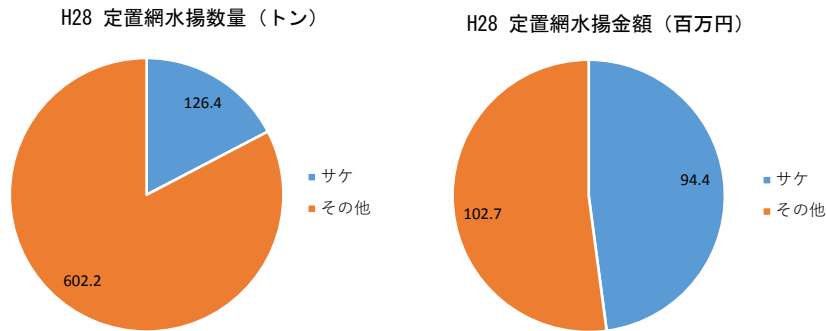


資料一釜石湾漁協業務報告書

図 2-1-9 漁協自営定置網漁業の水揚数量、金額の推移

表 2-1-5 近年の自営定置網漁業の水揚数量、金額の比較

漁場	品目	数量 (kg)			金額 (円)		
		H27	H28	比較	H27	H28	比較
沖網	さけ	115,261.2	120,963.9	▲ 5,702.7	66,317,498	90,445,607	▲ 24,128,109
	その他	577,888.7	488,403.4	▲ 89,485.3	83,586,301	89,964,572	▲ 6,378,271
	小計	693,149.9	609,367.3	▲ 83,782.6	149,903,799	180,410,179	▲ 30,506,380
白崎	さけ	10,930.2	5,438.2	▲ 5,492.0	6,069,492	3,962,608	▲ 2,106,884
	その他	146,834.3	113,759.6	▲ 33,074.7	20,377,669	12,738,766	▲ 7,638,903
	小計	157,764.5	119,197.8	▲ 38,566.7	26,447,161	16,701,374	▲ 9,745,787
合計		850,914.4	728,565.1	▲ 122,349.3	176,350,960	197,111,553	▲ 20,760,593

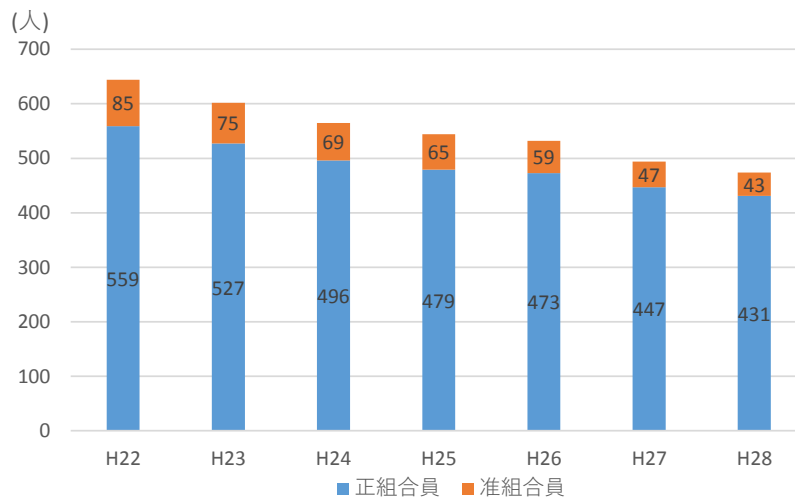


資料一釜石湾漁協業務報告書

図 2-1-10 平成 28 年の自営定置網の水揚数量、金額の内訳

③ 組合員数

平成 28 年の組合員数は、474 人であり、震災前の平成 22 年の 644 人と震災後の平成 28 年を比較すると減少傾向（170 人減）にあります。



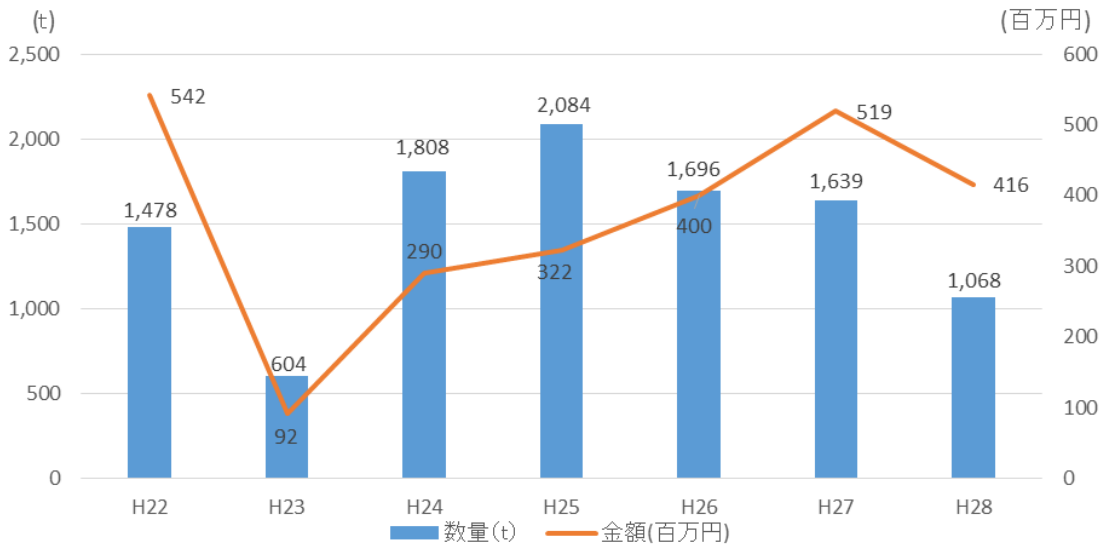
資料一釜石湾漁協業務報告書

図 2-1-11 組合員数(正・准)の推移

(3) 唐丹町漁協

① 販売事業

平成 28 年の販売事業は、1,068 t、4 億 15 百万円であり、震災前の平成 22 年と震災後の平成 28 年を比較すると数量で 72.2%、金額で 76.7%までの回復にとどまっています。

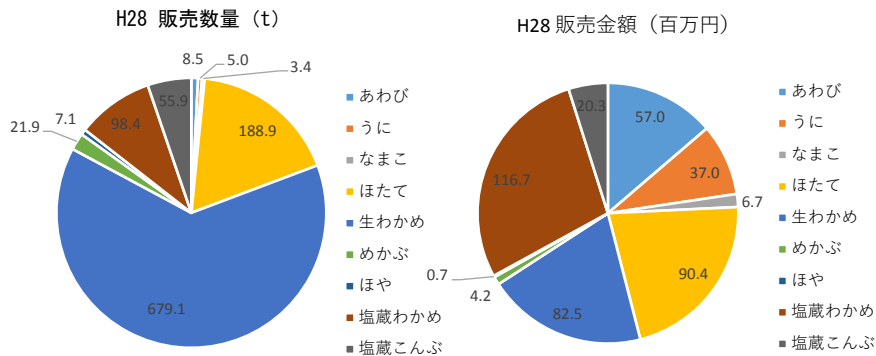


資料一唐丹町漁協業務報告書

図 2-1-12 漁協販売事業数量、金額の推移

表 2-1-6 近年の販売事業数量、金額の比較

品目	数量 (kg)			金額 (円)		
	H27	H28	増減	H27	H28	増減
あわび	14,500.7	8,542.5	▲ 5,958.2	141,104,201	57,001,805	▲ 84,102,396
うに	4,213.8	4,985.2	▲ 771.4	30,313,558	37,023,545	▲ 6,709,987
なまこ	6,984.0	3,387.5	▲ 3,596.5	13,459,180	6,698,710	▲ 6,760,470
ほたて	240,672.0	188,895.0	▲ 51,777	112,161,779	90,366,634	▲ 21,795,145
生わかめ	1,082,303.0	679,147.0	▲ 403,156	103,297,094	82,490,030	▲ 20,807,064
めかぶ	55,093.0	21,865.0	▲ 33,228	11,137,065	4,161,900	▲ 6,975,165
ほや	73,751.0	7,068.0	▲ 66,683	7,484,720	743,338	▲ 6,741,382
塩蔵わかめ	101,150.0	98,393.0	▲ 2,757	85,879,383	116,741,324	▲ 30,861,941
塩蔵こんぶ	60,825.0	55,935.0	▲ 4,890	13,671,600	20,281,071	▲ 6,609,471
計	1,639,492.5	1,068,218.2	▲ 571,274.3	518,508,580	415,508,357	▲ 103,000,223

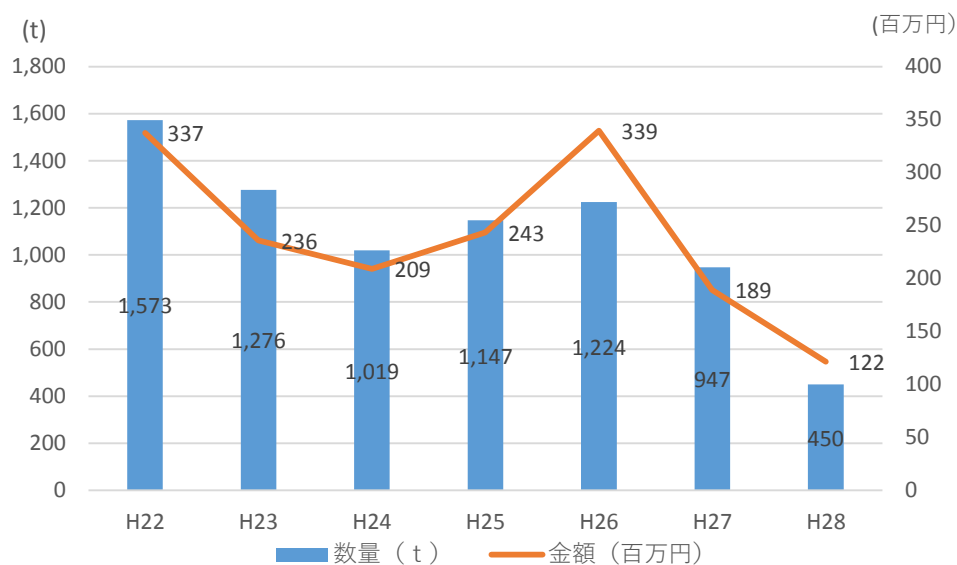


資料一唐丹町漁協業務報告書

図 2-1-13 平成 28 年の漁協販売数量、金額の内訳

② 定置網水揚（金島漁場、大建漁場）

平成 28 年の定置網水揚は、450 t、1 億 21 百万円であり、震災前の平成 22 年と震災後の平成 28 年を比較すると数量で 53.2%、金額で 86.4%までの回復にとどまっています。

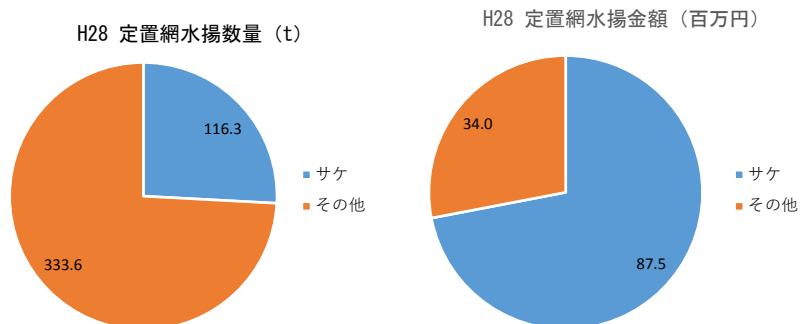


資料一唐丹町漁協業務報告書

図 2-1-14 漁協自営定置網漁業の水揚数量、金額の推移

表 2-1-7 近年の自営定置網漁業の水揚数量、金額の比較

漁場	品目	数量 (kg)			金額 (円)		
		H27	H28	比較	H27	H28	比較
金島	さけ	72,644.7	54,489.9	▲ 18,154.8	44,563,799	40,508,151	▲ 4,055,648
	その他	452,249.7	229,613.0	▲ 222,636.7	43,251,976	21,596,289	▲ 21,655,687
	小計	524,894.4	284,102.9	▲ 240,791.5	87,815,775	62,104,440	▲ 25,711,335
大建	さけ	109,593.7	61,768.5	▲ 47,825.2	65,170,630	46,957,009	▲ 18,213,621
	その他	312,393.4	103,996.1	▲ 208,397.3	36,027,236	12,438,812	▲ 23,588,424
	小計	421,987.1	165,764.6	▲ 256,222.5	101,197,866	59,395,821	▲ 41,802,045
合計		946,881.5	449,867.5	▲ 497,014.0	189,013,641	121,500,261	▲ 67,513,380

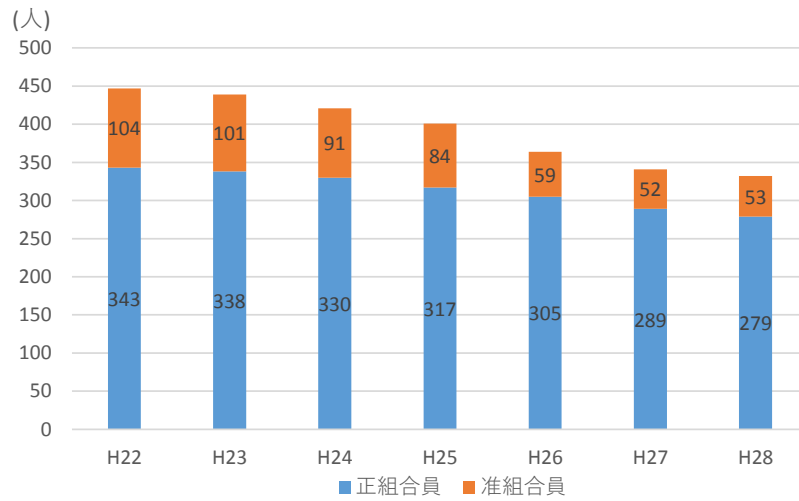


資料一唐丹町漁協業務報告書

図 2-1-15 平成 28 年の定置網水揚数量と金額内訳

③ 組合員数

平成 28 年の組合員数は、332 人であり、震災前の平成 22 年の 447 人と震災後の平成 28 年を比較すると減少傾向（115 人減）にあります。



資料一唐丹町漁協業務報告書

図 2-1-16 組合員数(正・准)の推移

2. 漁業経営体及び漁業就業者

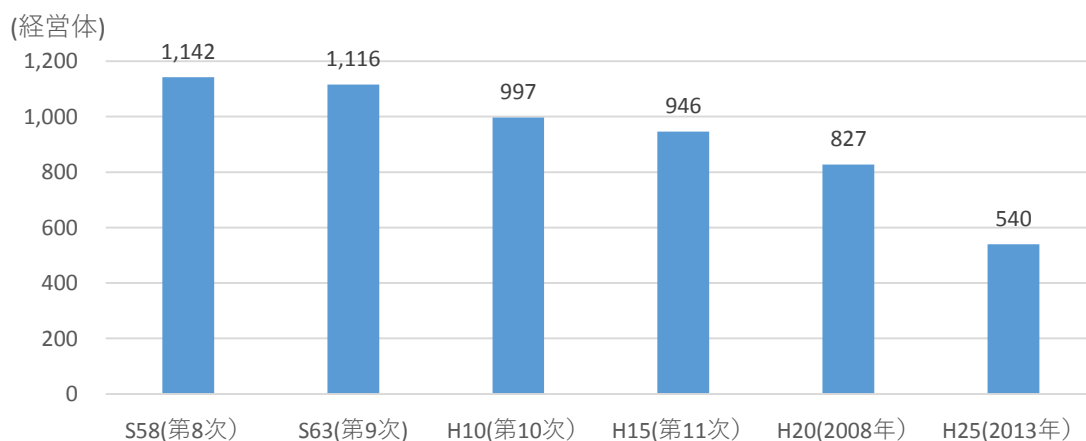
震災前から減少傾向にあった市内の漁業経営体及び漁業就業者数は、震災を契機に廃業する高齢漁業者や他の仕事への転職などにより減少傾向が加速しています。3漁協ともに漁業後継者や担い手確保の問題が顕在化しています。

釜石市内の震災前の平成20年度の2008年センサスによると、釜石市内の漁業経営体数は総数で827経営体でしたが、震災後の平成25年度の2013年センサスによると総数は540経営体(35%減)まで減少しました。内訳をみると、震災後の養殖業(ほたてが い、かき、わかめ)での経営体が減少していますが、これは、がんばる養殖復興支援事業を活用したことで、複数の経営体がグループ化して養殖業を再開したことによるものです。

表 2-1-8 釜石市の震災前後の海面漁業経営体数の推移

単位:経営体

漁業センサス年度	計	漁船非使用	漁船使用			大型定置網	小型定置網	海面養殖業				
			無動力漁船	船外機付漁船	動力船(1T未満~200T以上)			ほたてが い養殖	かき類養殖	わかめ類養殖	こんぶ養殖	左記以外の養殖
S58(第8次)	1142	-	31	1054	350	8	4	128	6	622	-	24
S63(第9次)	1116	-	39	1174	358	12	7	283	11	384	-	58
H10(第10次)	997	-	12	1221	368	7	2	290	23	293	-	12
H15(第11次)	946	-	20	1221	371	6	4	316	28	198	14	1
H20(2008年)	827	1	-	255	59	4	3	247	26	222	2	8
H25(2013年)	540	4	-	315	38	4	3	15	1	157	2	1



資料-漁業センサス

図 2-1-17 釜石市の漁業経営体総数の推移

市内3漁協の年齢階層別の就業者数についてみると、震災前の平成20年度の漁業センサスによると、釜石市内の漁業就業者の総数で1,554人でしたが、震災後の平成25年度の漁業センサスによると総数は1,095人(30%減)まで減少しました。

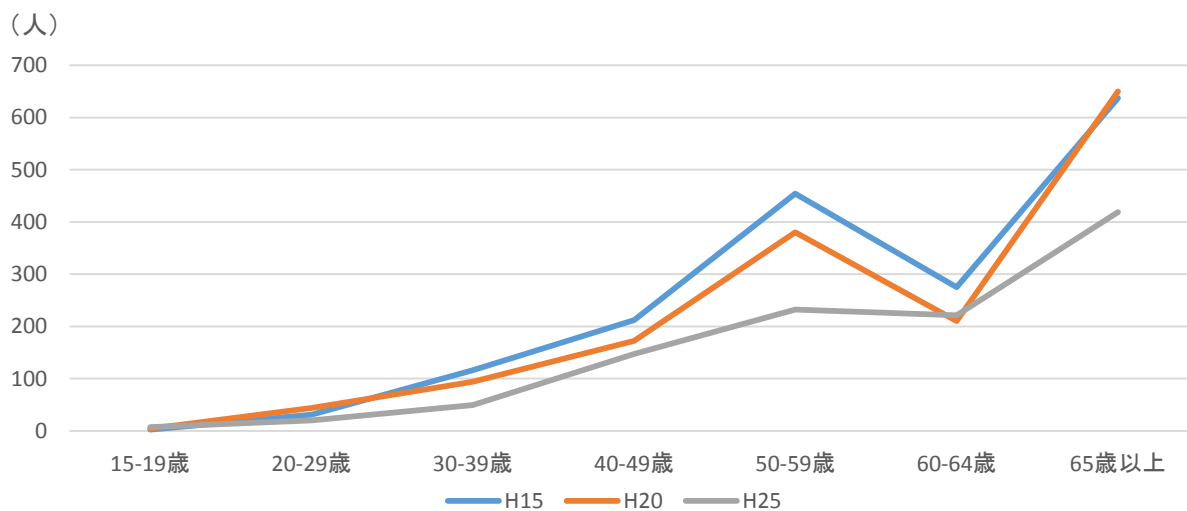
年齢階層別にみると、震災前の平成20年度では65歳以上の人数は650人(42%)と高齢化が進行しており、震災後の平成25年度には廃業により419人(38%)まで減少したものの、依然として高齢人口の割合は4割近くを占めています。また、震災後に20歳未満の就業者数が震災

前に比べわずかに増加しているものの、40歳未満の就業者数は平成20年度の142人から平成25年度の76人へと46%減少しており、若い担い手が不足している状況です。

表 2-1-9 釜石市の年齢階層別漁業就業者数の推移

年齢階層/ 年度	H15(人、%)		H20(人、%)		H25(人、%)	
15-19歳	2	0.1%	4	0.3%	7	0.6%
20-29歳	31	1.8%	44	2.8%	20	1.8%
30-39歳	116	6.7%	94	6.0%	49	4.5%
40-49歳	212	12.3%	172	11.1%	147	13.4%
50-59歳	454	26.3%	380	24.5%	232	21.2%
60-64歳	275	15.9%	210	13.5%	221	20.2%
65歳以上	637	36.9%	650	41.8%	419	38.3%
合計	1727	100.0%	1554	100.0%	1095	100.0%

資料—漁業センサス



資料—漁業センサス

図 2-1-18 釜石市の年齢階層別漁業就業者数の推移

3. 漁業生産

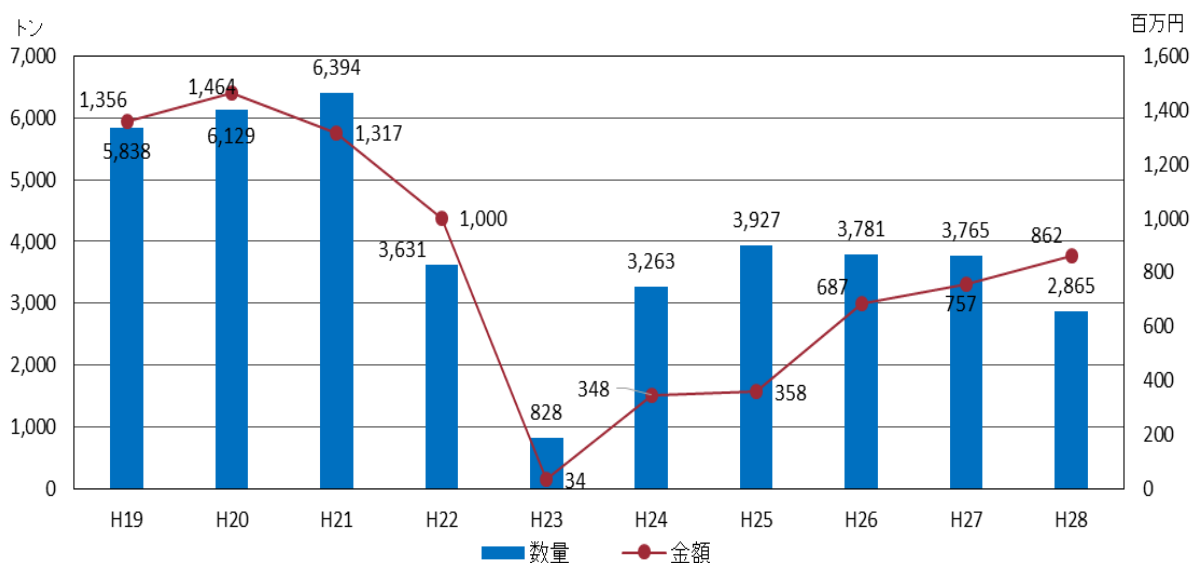
釜石市の漁業生産は、主に海面養殖業と定置網漁業、漁船漁業、採介藻漁業により成り立っています。東日本大震災により、魚市場のほか、市内の漁港や漁船、漁業・養殖業施設が被災しましたが、災害復旧事業により復旧しており、漁業生産も回復傾向にあります。

(1) 養殖業

釜石市の養殖の上位3種はわかめ、ほたてがい、こんぶで、生産量、生産金額ともに養殖全体の9割以上を占めています。東日本大震災により被災した養殖施設は災害復旧事業等により復旧しましたが、平成28年には震災前(H19~21年)の生産量の平均(6,120t)の半分以下、金額の平均(1,379百万円)の6割程度までしか回復していません。

表 2-1-10 釜石市の養殖業生産量、生産金額の推移

養殖業(市内全体)	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
生産量(トン)	5,838	6,129	6,394	3,631	828	3,263	3,927	3,781	3,765	2,865
生産額(百万円)	1,356	1,464	1,317	1,000	34	348	358	687	757	862



資料-3 漁協業務報告書

図 2-1-18 釜石市の養殖業生産量、生産金額の推移

表 2-1-11 震災前後の養殖種別の生産量、金額の推移

単位：数量 kg、金額千円

区分\年度		H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
数 量	ワカメ	3,118,952	3,543,827	4,283,438	1,272,988	827,946	2,219,184	2,919,020	2,611,545	2,700,387	1,933,751
	コンブ	618,125	724,920	273,627	784,170	0	858,773	679,707	163,058	94,395	81,555
	ホタテガイ	1,876,422	1,645,312	1,719,652	1,428,916	0	181,308	322,648	898,656	855,555	771,772
	カキ	127,338	93,863	71,256	61,340	0	4,050	5,141	30,428	20,125	20,596
	ホヤ	96,153	120,639	45,499	83,740	0	0	195	77,156	94,994	56,213
	その他	539	434	61	125	0	0	0	0	0	960
	計	5,837,529	6,128,995	6,393,533	3,631,279	827,946	3,263,315	3,926,711	3,780,843	3,765,456	2,864,847
金 額	ワカメ	492,265	793,593	658,021	192,901	124,602	283,996	279,709	256,717	352,349	374,376
	コンブ	131,650	183,585	60,746	198,672	0	57,973	63,050	12,556	19,992	29,297
	ホタテガイ	642,288	431,878	460,514	536,440	0	65,473	102,814	339,326	404,938	406,779
	カキ	103,198	88,847	75,181	81,280	0	14,411	12,472	85,346	50,097	49,371
	ホヤ	12,247	14,132	5,600	11,009	0	0	64	7,823	12,489	11,022
	その他	3,393	2,660	364	1,815	0	0	0	0	0	192
	計	1,385,041	1,514,695	1,260,427	1,022,117	124,602	421,853	458,109	701,768	839,866	871,036

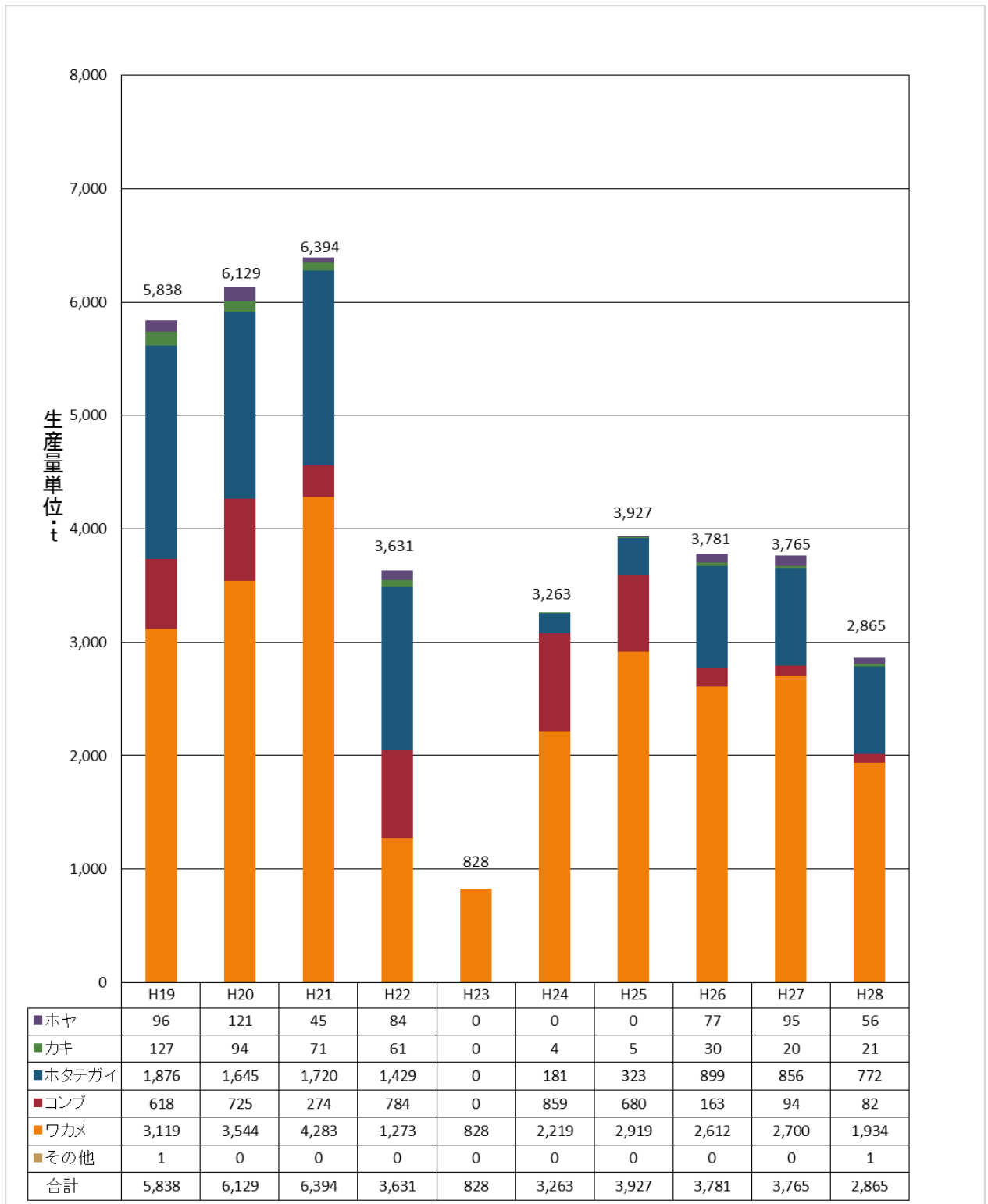
※塩蔵ワカメは、3倍で生換算した数値とした数値で他のワカメ製品に入れている。

※殻付カキ、一粒カキは、0.2倍でむき身換算した数値でカキ(むき身重量)に入れている。

※すきコンブは、1枚あたり0.3倍で生換算した数値で他のコンブ製品に入れている。

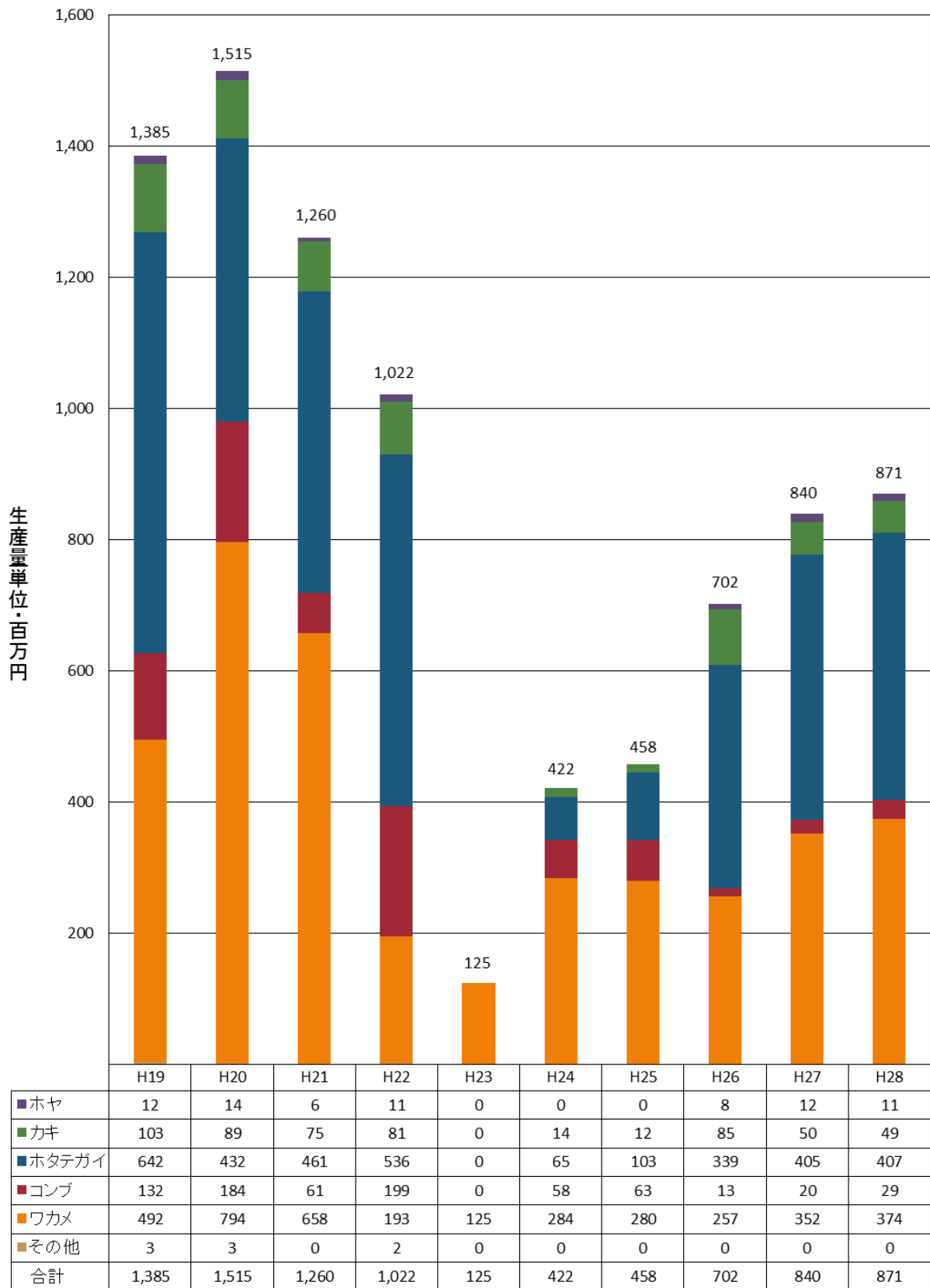
※その他に含まれるマツモは、1枚あたり0.14倍で生換算している。

資料-3 漁協業務報告書



資料-3 漁協業務報告書

図 2-1-19 養殖種別の生産量の推移



資料-3 漁協業務報告書

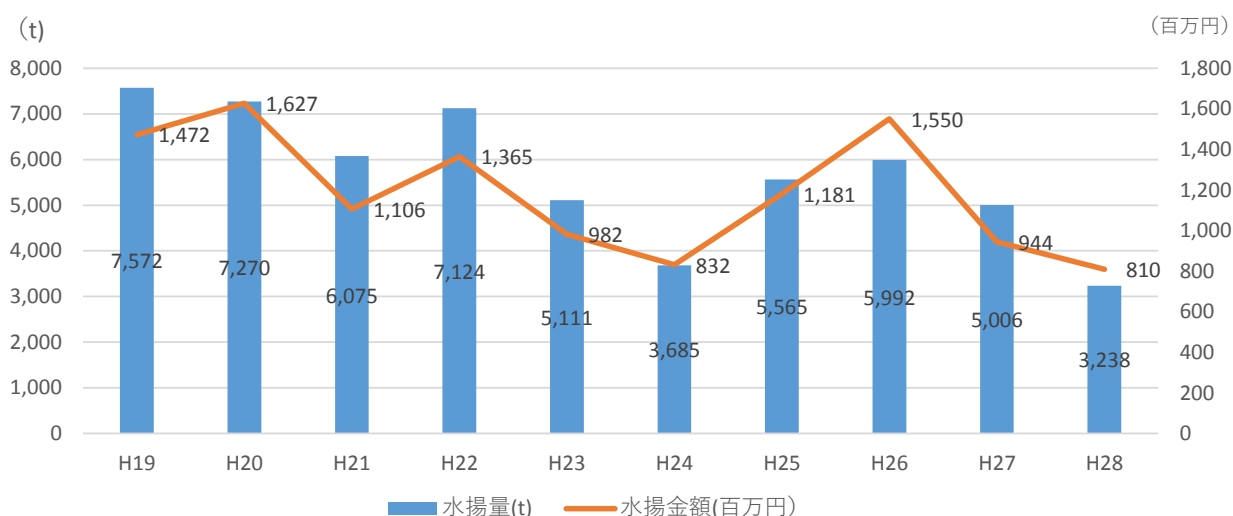
図 2-1-20 養殖種別の生産金額の推移

(2) 定置網漁業

釜石市の地元船のみの定置網漁業は、秋さけが主体のほか、さば、ぶりなどが水揚げされ、震災前（平成 19～21 年）の平均で約 7 千トンあった漁獲量が、震災年の平成 23 年には 5.1 千トンまで減少し、秋さけの漁獲量も減少し平成 28 年には 3.2 千トンと低迷しています。

表 2-1-12 釜石市の地元漁船の定置網漁獲量、漁獲金額の推移

地元船 定置網漁業	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
水揚量(t)	7,572	7,270	6,075	7,124	5,111	3,685	5,565	5,992	5,006	3,238
水揚金額(百万円)	1,472	1,627	1,106	1,365	982	832	1,181	1,550	944	810



資料一釜石漁連地方卸売市場水揚統計

図 2-1-21 釜石市の地元漁船の定置網漁獲量、漁獲金額の推移

(3) 漁船漁業

釜石市で主な漁船漁業は、さんま棒受け網、延縄、刺網、かご、いさだ船曳き網、いか釣り等があります。数量では、廻来船のさんま棒受け網漁業、地元船のいさだの水揚げが主力となっており、金額では廻来船のさんま棒受け網漁業、かご漁業、地元船では、いさだ船曳き曳網漁業の水揚げが主力となっています。

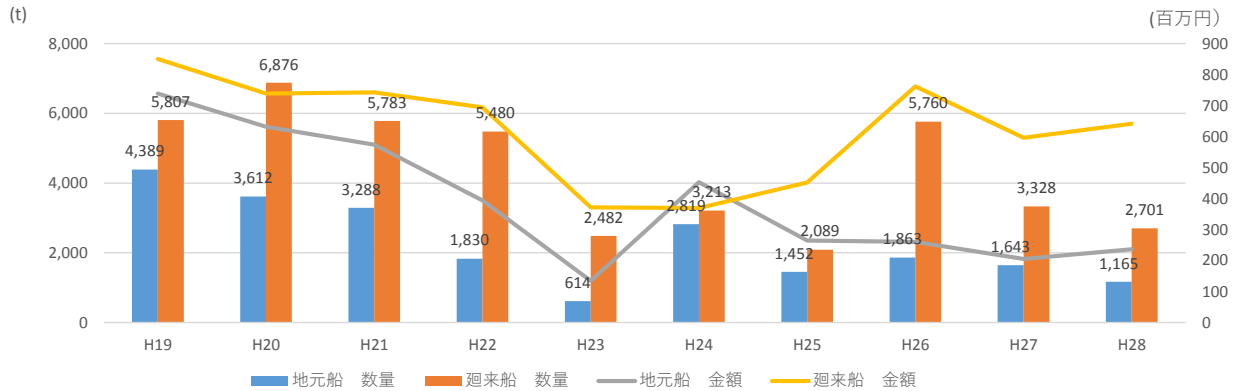
ここで、本データは釜石市魚市場の水揚総数(量、金額)から定置網漁業(地元、廻来)及び漁船漁業(廻来)、搬入(廻来)の量、金額を差し引き、魚市場で取り扱われる地元船の漁船漁業の水揚としています。

震災後の平成 24 年以降は、地元漁船の地域外への水揚げにより、低位で推移しており、地元船の水揚げは平成 28 年度で 1.1 千トンと低位となっています。

また、廻来船の水揚げについてみると、さんま棒受け網漁業の水揚げが好調であった平成 26 年は数量が 5.7 千トン、金額が 7.6 億円まで伸びましたが、さんまの不漁に伴い、平成 28 年は廻来船の水揚げ数量は 2.7 千トンで低迷しています。

表 2-1-13 釜石市の地元漁船、廻来船の漁船漁業漁獲量、漁獲金額の推移

漁獲量・金額/年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
地元船 数量 (t)	4,389	3,612	3,288	1,830	614	2,819	1,452	1,863	1,643	1,165
廻来船 数量 (t)	5,807	6,876	5,783	5,480	2,482	3,213	2,089	5,760	3,328	2,701
地元船 金額 (百万円)	739	632	574	394	134	453	265	260	205	236
廻来船 金額 (百万円)	850	739	743	694	371	370	452	762	596	642



資料－釜石漁連地方卸売市場水揚統計

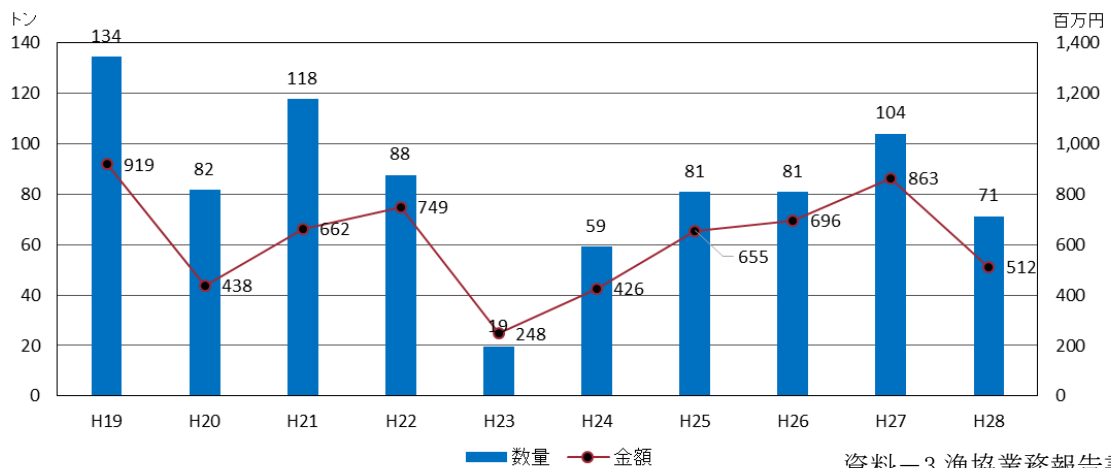
図 2-1-22 釜石市の地元漁船の漁船漁業漁獲量、漁獲金額の推移

(4) 採介藻漁業

釜石市の採介藻漁業（あわび、うに、海藻類）の漁獲量は、3 漁協業務報告書によれば、震災前（平成 19～21 年）の平均で 115 トン、6 億 8 千万円であったのに対し、震災年の平成 23 年には 20 トンまで減少しましたが、平成 27 年は 100 トン、8 億 5 千万円まで回復しています。

表 2-1-14 釜石市の採介藻漁業漁獲量、漁獲金額の推移

採介藻漁業生産	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
生産量(トン)	134	82	118	88	19	59	81	81	104	71
生産額(百万円)	1,009	520	743	857	345	492	782	746	970	600



資料－3 漁協業務報告書

図 2-1-23 釜石市の採介藻漁業漁獲量、漁獲金額の推移

4. 漁業所得

漁船漁業漁家では、太平洋北区の漁船漁業の平均では漁業収入は1,326万円あるものの、支出が1,227万円もあることから漁業所得は99万円となっており、人件費や燃油、資材費の高騰が経営を圧迫しています。

また、東北の養殖漁業者の所得をみると、漁業収入がほたて養殖漁家で2,184万円、支出が1,278万円であることから漁業所得は905万円、一方、わかめ養殖漁家では漁業所得が56万円となっており、単価高や養殖種による生産性の違いが現れています。

東北農林水産統計によると、太平洋北区の漁船漁業漁家における平均の漁業収入は1,326万円のうち漁業所得は99万円、所得率は7.5%ですが、釜石市の漁船漁業規模として最も多い動力船3～5トンの漁業収入は1,032万円のうち漁業所得は291万円、所得率は28.2%となっており、漁業外所得が283万円となっています。

一方、養殖業漁家では、ほたて養殖の場合の漁業収入は2,184万円のうち漁業所得は905万円、所得率は41.4%、わかめ養殖の漁業収入は657万円のうち漁業所得は56万円、所得率は8.6%となっています。

表 2-1-15 釜石市を含む太平洋北区の漁船漁業の漁業所得・収入・支出の現状 (H27年)

区 分	事 業 所 得			漁 労 収 入	漁 労 外 事 業 収 入	漁 労 支 出				漁 労 外 事 業 支 出	漁 労 所 得 率 (%)	
	漁 労 所 得	漁 労 外 事 業 所 得	漁 労 収 入			雇 用 労 賃	油 費	減 価 償 却 費				
太 平 洋 北 区												
漁 船 漁 業 平 均	2,360	991	1,369	13,264	1,724	12,273	1,878	1,834	2,298	355	7.5	
動力船3T未満	1,715	1,715	-	7,171	-	5,456	-	722	1,559	-	23.9	
〃 3～5	5,739	2,911	2,828	10,322	3,562	7,411	1,098	1,057	1,280	734	28.2	
〃 5～10	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	
〃 10～20	△ 5,447	△ 5,447	-	53,940	-	59,387	12,545	11,123	8,633	-	nc	
〃 20T以上	△ 5,163	△ 5,163	-	94,855	-	100,018	34,620	13,443	7,676	-	nc	
小型定置網漁業	8,422	4,944	3,478	42,639	4,570	37,695	11,421	863	5,065	1,092	11.6	

※太平洋北区は青森県から茨城県に至る範囲である。

資料 - 東北農林水産統計

表 2-1-16 釜石市を含む東北地方の養殖漁業の漁業所得・収入・支出の現状 (H27年)

区 分	事 業 所 得			漁 労 収 入	漁 労 外 事 業 収 入	漁 労 支 出				漁 労 外 事 業 支 出	漁 労 所 得 率 (%)	
	漁 労 所 得	漁 労 外 事 業 所 得	漁 労 収 入			雇 用 労 賃	油 費	減 価 償 却 費				
東 北												
かき類養殖業	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
わかめ類養殖業	556	563	△ 7	6,570	16	6,007	865	459	867	23	8.6	
ほたてがい養殖業	9,138	9,052	86	21,841	211	12,789	2,241	612	2,004	125	41.4	

注：かき養殖は個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を未公表

資料 - 東北農林水産統計

5. 釜石市魚市場

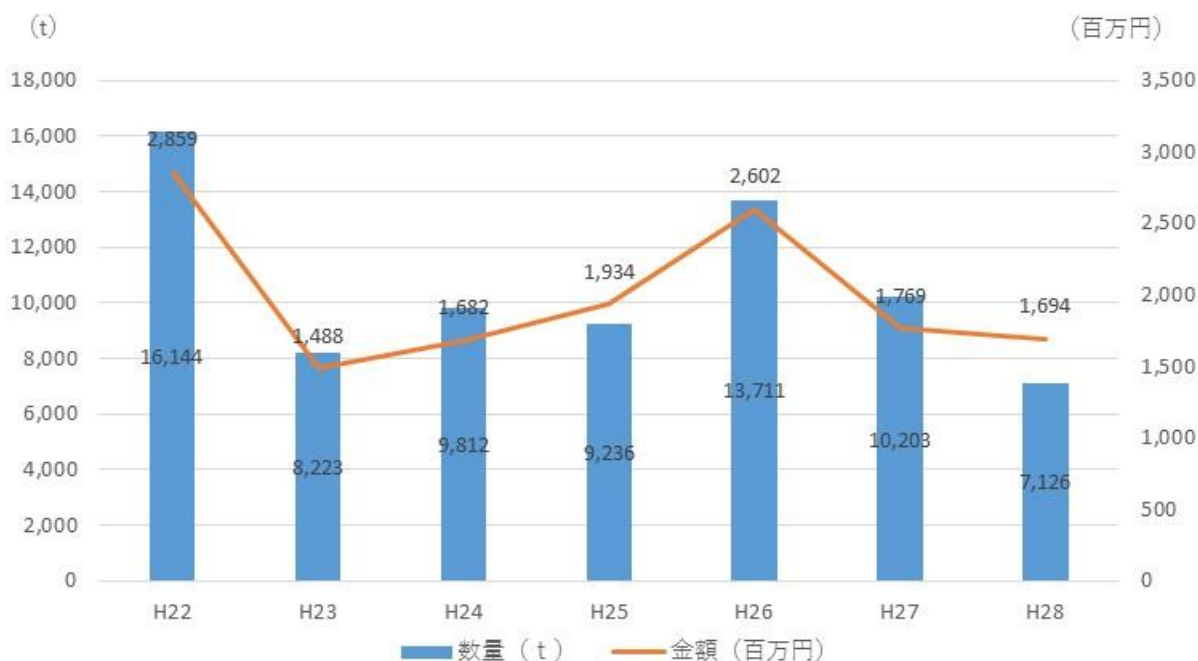
平成 29 年 5 月 16 日に高度衛生管理型市場として供用開始した魚河岸魚市場では、地元定置漁船の水揚げや陸送による搬入が行われ、新浜町魚市場では、漁船誘致により回来船のさんま棒受網漁船やまき網漁船などの水揚げが行われています。

釜石市魚市場は、地元 3 漁協の定置網漁業のほか、地元・県内の沿岸漁船漁業（刺網、かご、延縄、曳網等）と外来船による漁船漁業（さんま棒受け網、まき網、いか釣等）の水揚が主です。

釜石市魚市場の水揚数量は震災前から 2 万トンを下回っていましたが、震災年の平成 23 年には 8.2 千トンまで減少しました。震災後、平成 26 年をピークに 1.4 万トン弱まで回復しましたが、天然資源に依存した定置網漁業、漁船漁業の漁獲量は変動することから、平成 27 年以降は減少傾向にあり、平成 28 年は 7 千トンにとどまっています。平成 27 年に釜石市魚市場に水揚された魚種は、数量ではさば、さんま、いさだが 7 割を占め、金額では秋さけ、さんまが約 5 割を占めています。

表 2-1-17 釜石市魚市場の水揚数量、金額の推移

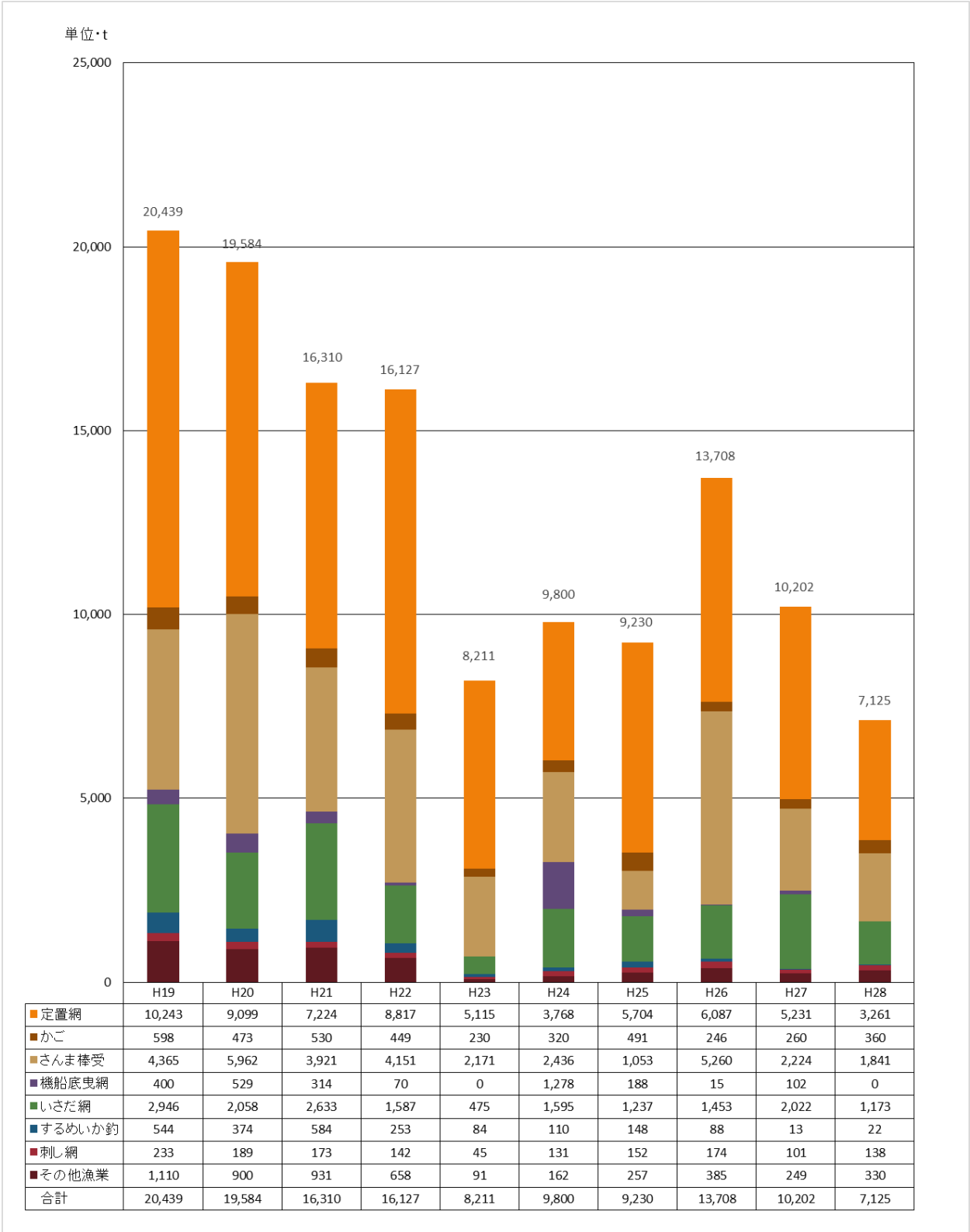
魚市場水揚/年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
数量 (t)	16,144	8,223	9,812	9,236	13,711	10,203	7,126
金額 (百万円)	2,859	1,488	1,682	1,934	2,602	1,769	1,694



資料一 釜石漁連地方卸売市場水揚統計

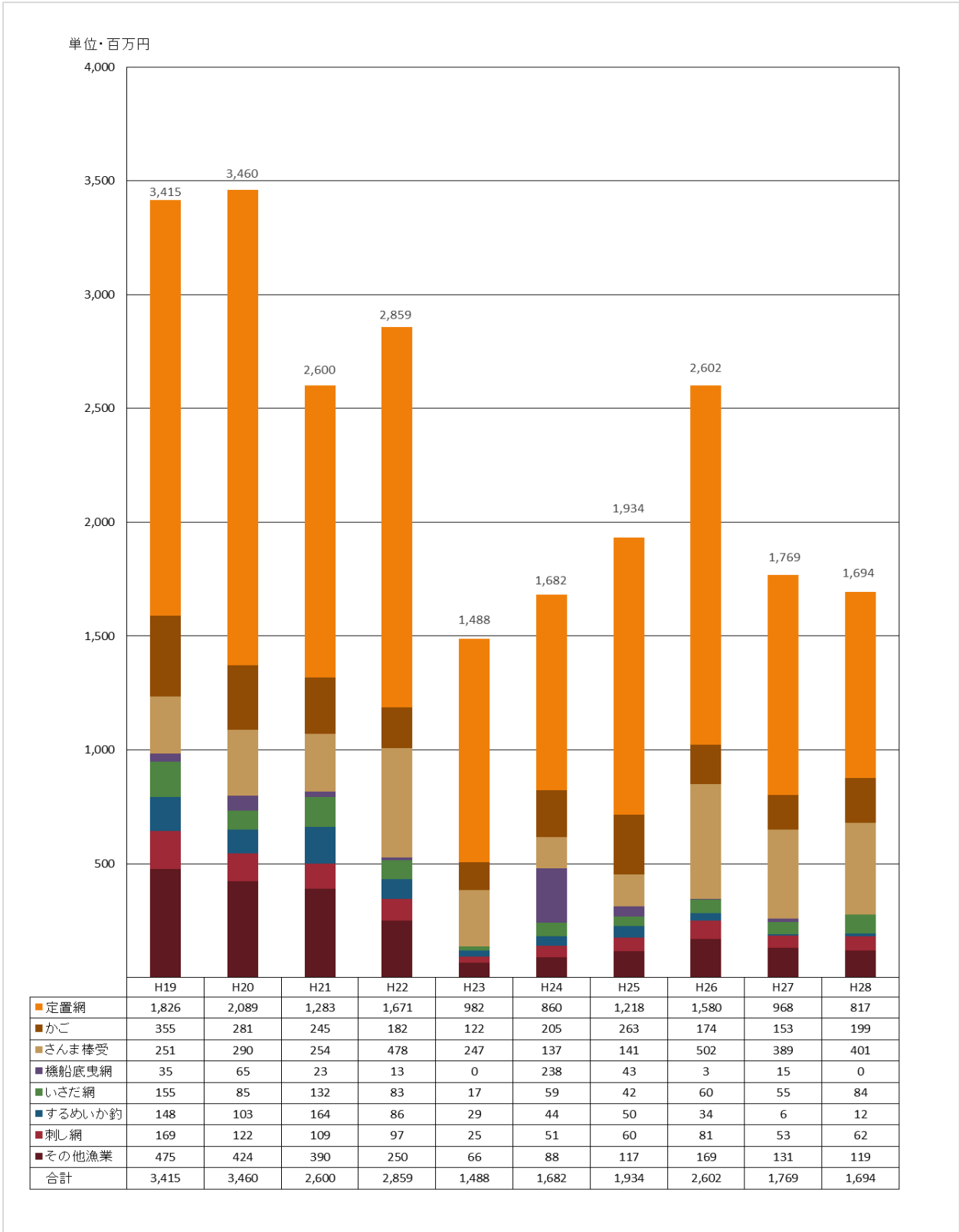
図 2-1-24 釜石市魚市場の水揚数量、金額の推移

図 2-1-25 釜石市魚市場の漁業種別水揚数量



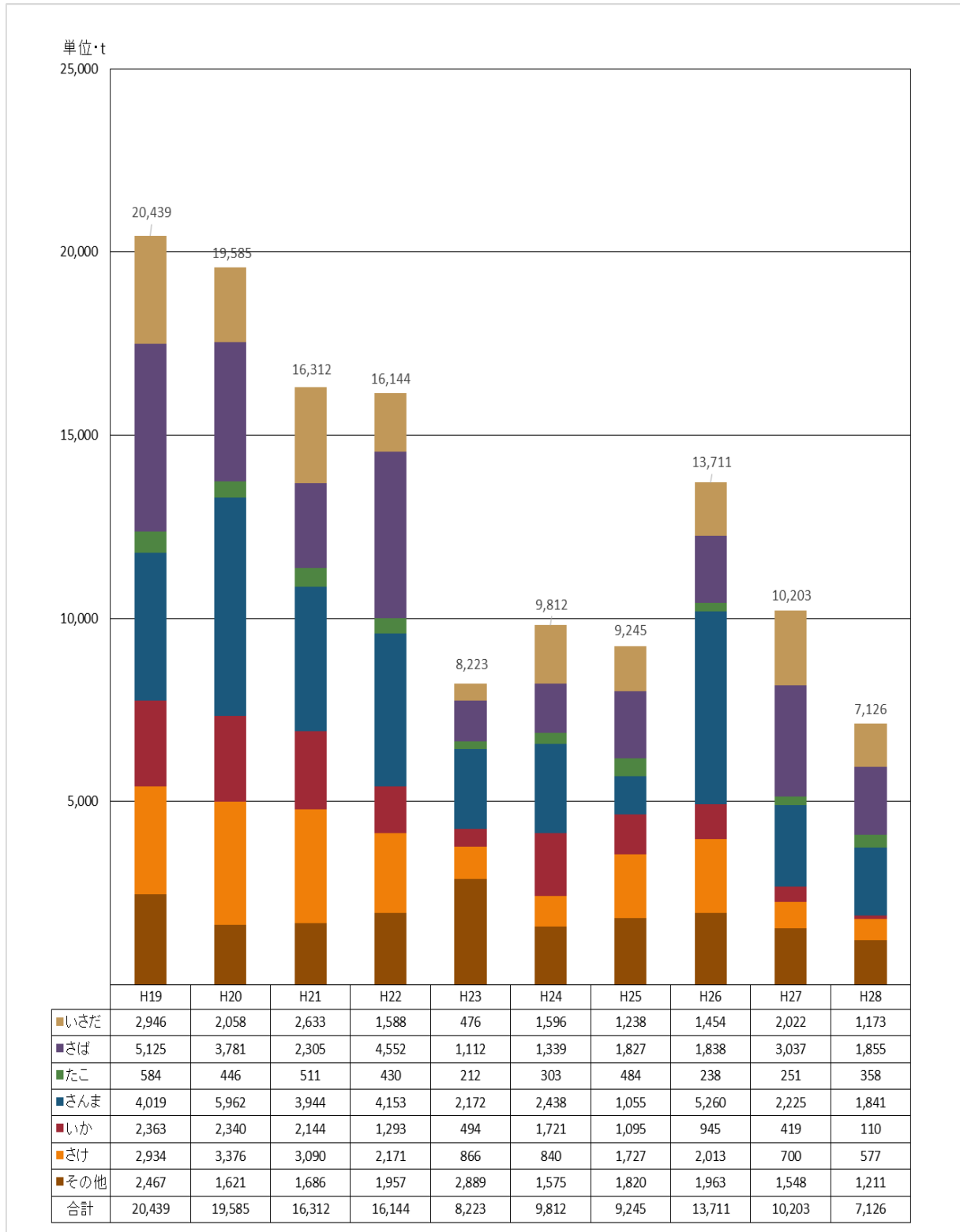
資料一 釜石漁連地方卸売市場水揚統計

図 2-1-26 釜石市魚市場の漁業種別水揚金額



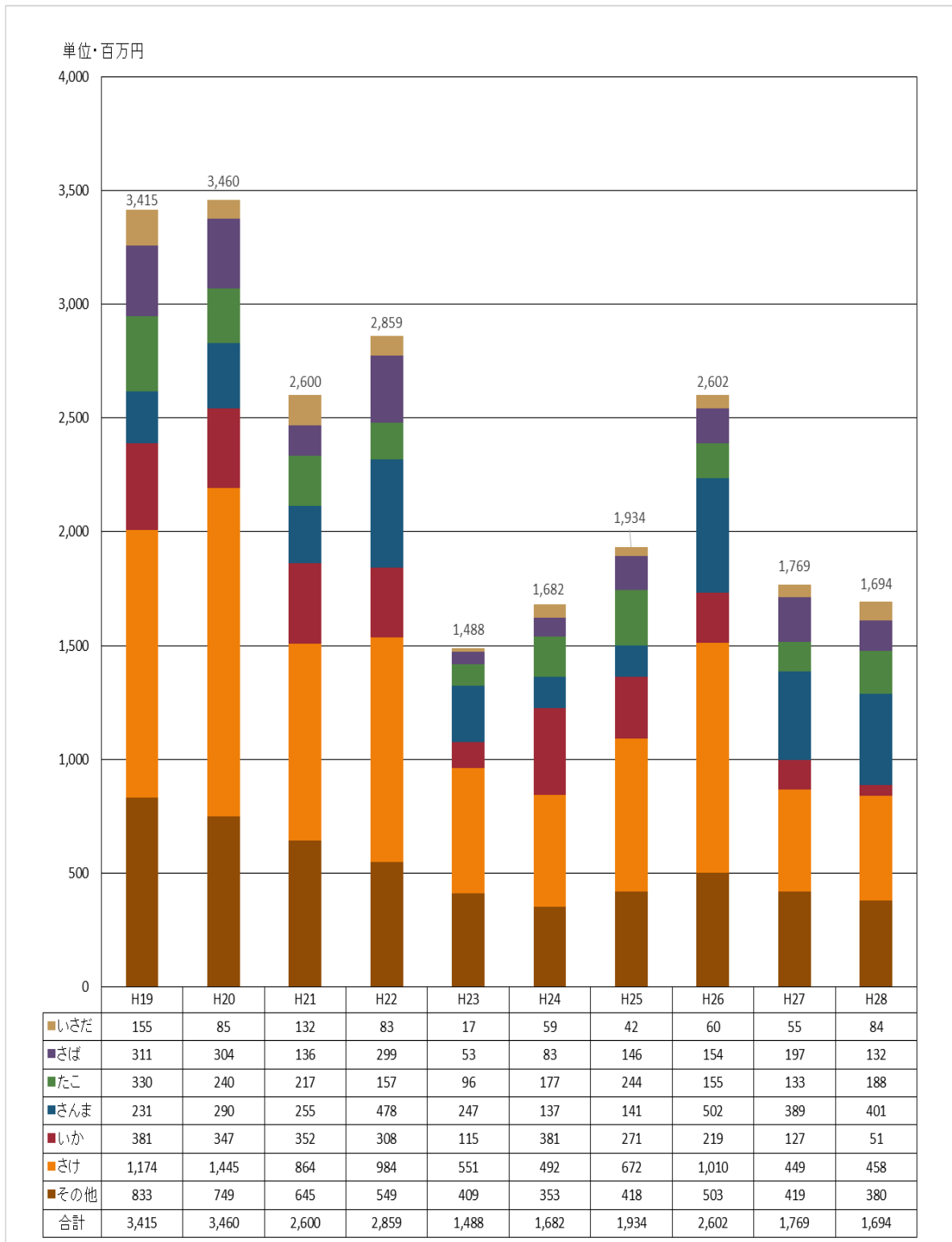
資料一 釜石漁連地方卸売市場水揚統計

図 2-1-27 釜石市魚市場の魚種別水揚数量



資料一 釜石漁連地方卸売市場水揚統計

図 2-1-28 釜石市魚市場の魚種別水揚金額



資料一 釜石漁連地方卸売市場水揚統計

表 2-1-18 釜石市魚市場の漁業種別・地元・廻来別水揚数量・金額

単位：数量トン、金額千円

漁業種別	年度 区分	H22		H23		H24		H25		H26		H27		H28	
		数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額
定置網	地元船	7,124	1,364,611	5,111	981,536	3,685	831,529	5,565	1,180,880	5,992	1,550,292	5,006	943,603	3,238	809,932
	廻来船	1,693	306,265	4	392	83	28,462	139	36,998	95	29,304	225	24,046	23	6,772
	計	8,817	1,670,876	5,115	981,928	3,768	859,991	5,704	1,217,878	6,087	1,579,596	5,231	967,649	3,261	816,704
磯建網	地元船	16	4,588	1	528	3	1,501	13	4,467	16	7,007	8	3,209	4	1,181
	廻来船	12	4,270	8	3,272	8	3,836	11	4,237	9	4,139	5	2,113	4	2,337
	計	28	8,858	9	3,800	11	5,337	24	8,704	25	11,146	13	5,322	8	3,518
刺し網	地元船	26	30,676	15	12,877	26	23,591	28	22,178	38	27,086	32	19,641	44	22,101
	廻来船	116	65,852	30	12,486	105	26,993	124	37,439	136	53,425	69	33,355	94	39,784
	計	142	96,528	45	25,363	131	50,584	152	59,617	174	80,511	101	52,996	138	61,885
小延縄	地元船	52	17,657	1	583	6	2,127	11	4,753	22	9,800	26	8,558	14	7,844
	廻来船	139	16,155	8	2,304	16	5,142	30	9,008	42	9,290	33	7,980	13	4,219
	計	191	33,812	9	2,887	22	7,269	41	13,761	64	19,090	59	16,538	27	12,063
鮭延縄	地元船	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	廻来船	0	36	0	0	0	0	1	339	0	0	0	0	0	1
	計	0	36	0	0	0	0	1	339	0	0	0	0	0	1
鱈延縄	地元船	5	1,656	2	810	2	497	0	283	2	542	12	4,467	5	1,842
	廻来船	21	7,476	1	361	11	3,456	4	710	14	6,253	1	40	1	364
	計	26	9,132	3	1,171	13	3,953	4	993	16	6,795	13	4,507	6	2,206
鮪・鮫延縄	地元船	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	廻来船	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
するめいか釣	地元船	178	60,435	80	27,032	66	27,059	48	16,357	48	18,038	4	1,892	3	1,333
	廻来船	75	25,385	4	1,517	44	16,998	100	33,193	40	15,612	9	4,290	19	11,164
	計	253	85,820	84	28,549	110	44,057	148	49,550	88	33,650	13	6,182	22	12,497
赤いか釣	地元船	0	0	10	2,604	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
	廻来船	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	38
	計	0	0	10	2,604	0	0	0	1	0	0	0	0	0	38
鯉一本釣	地元船	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	廻来船	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
突棒	地元船	15	2,928	0	53	1	648	2	1,869	5	4,699	1	1,038	1	568
	廻来船	24	19,529	0	0	9	7,257	10	9,205	20	19,430	13	12,488	4	4,727
	計	39	22,457	0	53	10	7,905	12	11,074	25	24,129	14	13,526	5	5,295
いさだ網	地元船	769	40,187	395	14,073	1,163	44,603	788	26,724	904	37,136	1,171	31,748	696	51,071
	廻来船	818	42,534	80	2,892	432	14,768	449	15,531	549	22,918	851	23,304	477	33,290
	計	1,587	82,721	475	16,965	1,595	59,371	1,237	42,255	1,453	60,054	2,022	55,052	1,173	84,361
鮪梶木流し網	地元船	1	630	0	0	0	0	0	0	2	1,593	2	610	0	0
	廻来船	0	484	0	0	0	0	0	0	1	679	0	40	1	1,014
	計	1	1,114	0	0	0	0	0	0	3	2,272	2	650	1	1,014
機船底曳網	地元船	70	13,264	0	0	1,278	238,071	188	43,378	15	2,978	102	14,794	0	0
	廻来船	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	70	13,264	0	0	1,278	238,071	188	43,378	15	2,978	102	14,794	0	0
小女子棒受	地元船	1	1,279	0	0	0	69	0	428	0	0	0	209	2	1,990
	廻来船	0	1,172	0	0	0	205	1	2,143	0	23	2	2,708	11	5,082
	計	1	2,451	0	0	0	274	1	2,571	0	23	2	2,917	13	7,072
さんま棒受	地元船	207	14,902	6	270	76	2,200	63	5,737	525	31,607	79	8,168	171	24,890
	廻来船	3,944	463,171	2,165	246,834	3,260	135,152	990	135,195	4,735	470,390	2,145	380,626	1,670	375,956
	計	4,151	478,073	2,171	247,104	2,436	137,352	1,053	140,932	5,260	501,997	2,224	388,794	1,841	400,846
かご	地元船	148	57,831	46	24,547	105	64,322	163	80,867	59	39,081	73	39,452	107	58,351
	廻来船	301	123,716	184	97,302	215	140,726	328	182,627	187	134,729	187	113,669	253	140,449
	計	449	181,547	230	121,849	320	205,048	491	263,494	246	173,810	260	153,121	360	198,800
養殖	地元船	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	廻来船	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
まき網	地元船	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	廻来船	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	142	10,296
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	142	10,296
河川	地元船	62	17,876	14	1,087	14	733	57	4,799	104	14,572	46	8,333	36	5,144
	廻来船	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	62	17,876	14	1,087	14	733	57	4,799	104	14,572	46	8,333	36	5,144
その他漁業	地元船	80	36,783	7	3,605	11	7,359	14	15,501	24	28,473	32	29,658	35	39,261
	廻来船	16	9,678	0	1,213	2	2,322	4	3,419	12	7,859	7	6,385	8	9,121
	計	96	46,461	7	4,818	13	9,681	18	18,920	36	36,332	39	36,043	43	48,382
搬入	地元船	200	92,829	37	46,377	68	39,797	77	37,198	99	37,767	55	33,222	47	20,284
	廻来船	14	15,029	2	3,201	11	12,779	22	18,546	13	17,203	6	9,536	2	3,799
	計	214	107,858	39	49,578	79	52,576	99	55,744	112	54,970	61	42,758	49	24,083
合計	地元船	8,954	1,758,132	5,725	1,115,982	6,504	1,284,106	7,017	1,445,420	7,855	1,810,671	6,649	1,148,602	4,403	1,045,792
	廻来船	7,173	1,100,752	2,486	371,774	3,296	398,096	2,213	488,590	5,853	791,254	3,553	620,580	2,722	648,413
	計	16,127	2,858,884	8,211	1,487,756	9,800	1,682,202	9,230	1,934,010	13,708	2,601,925	10,202	1,769,182	7,125	1,694,205

資料一 釜石漁連地方卸売市場水揚統計

表 2-1-19 釜石市魚市場の漁業種別・地元・廻来別水揚数量・金額

単位：数量トン、金額千円

魚種別	年度	H22年	H23年	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年
	区分							
さ け	数量	2,171	866	840	1,727	2,013	700	577
	金額	984,327	551,200	492,197	671,718	1,010,113	449,430	457,555
ま す	数量	16	0	2	113	5	6	6
	金額	9,208	121	2,014	27,121	4,345	7,806	7,856
い か	数量	1,293	494	1,721	1,095	945	419	110
	金額	308,257	115,046	381,285	271,346	218,529	126,869	50,934
さ ん ま	数量	4,153	2,172	2,438	1,055	5,260	2,225	1,841
	金額	478,078	247,108	137,353	140,935	501,997	388,808	400,847
かじき類	数量	23	0	11	15	29	16	9
	金額	21,841	277	8,640	12,668	26,995	14,255	8,995
た こ	数量	430	212	303	484	238	251	358
	金額	157,389	95,556	176,585	243,675	154,637	132,775	188,365
ひらめ	数量	11	8	15	34	23	13	9
	金額	10,273	6,084	12,640	21,262	18,437	12,621	9,267
かれい類	数量	37	15	27	32	55	59	47
	金額	56,739	16,402	27,831	32,302	42,713	34,085	26,006
まぐろ	数量	27	6	19	13	24	10	11
	金額	48,827	9,544	31,138	20,665	35,012	16,543	20,427
さば	数量	4,552	1,112	1,339	1,827	1,838	3,037	1,855
	金額	298,703	52,567	82,500	146,403	153,556	196,781	131,962
かに類	数量	31	19	23	16	11	11	4
	金額	33,530	26,484	32,931	23,466	23,078	22,960	12,185
た ら	数量	105	16	205	177	126	62	71
	金額	27,343	3,563	26,416	20,819	33,025	16,082	25,388
すけそう	数量	20	0	211	308	276	57	5
	金額	788	19	8,239	15,954	21,479	5,115	445
ぶり類	数量	654	191	583	335	482	408	277
	金額	63,451	24,779	62,502	44,181	85,703	78,025	50,093
こうなご	数量	3	0	0	2	0	2	14
	金額	2,452	0	275	2,573	23	2,917	7,072
かつお	数量	0	0	0	0	0	0	0
	金額	0	0	0	0	0	0	0
た い	数量	6	10	16	10	4	9	6
	金額	2,380	2,141	5,639	3,474	2,020	3,649	3,731
いわし	数量	61	9	8	76	197	396	213
	金額	1,917	428	473	4,101	14,809	22,520	13,204
どんこ	数量	27	6	12	15	19	21	13
	金額	5,790	1,508	2,485	4,065	4,611	5,471	3,115
いさだ	数量	1,588	476	1,596	1,238	1,454	2,022	1,173
	金額	82,722	16,966	59,371	42,256	60,055	55,052	84,362
あじ	数量	19	4	14	7	6	20	7
	金額	953	390	1,697	967	1,690	1,255	1,695
すずき	数量	0	0	0	0	0	0	0
	金額	77	79	138	75	55	84	54
その他	数量	918	2,604	428	669	707	459	519
	金額	263,851	317,509	129,864	183,988	189,048	176,052	190,530
合 計	数量	16,144	8,223	9,812	9,245	13,711	10,203	7,126
	金額	2,858,897	1,487,771	1,682,214	1,934,014	2,601,928	1,769,156	1,694,089

資料一 釜石漁連地方卸売市場水揚統計

6. 流通加工業

釜石市の水産物の流通加工業は、新釜石市魚市場の背後（水産経済活性化ゾーン）に整備された水産加工場の集積のほか、北から鶴住居、水海、太平、平田、唐丹の各地区に水産加工場や冷凍冷蔵施設が立地しています。

市内の水産加工業の工場数は、震災前（H20）の18工場から震災後（H25）の17工場と大きな減少はみられず、従業員数は493人（H20）から637人（H25）と増加がみられますが、各加工場においては、事業拡大等に伴い、必要な従業員数が不足している状況が報告されております。

東北農林水産統計年報によると、岩手県の水産加工品の生産量は8万4千トンとなっており、そのうちいか類、さんま、さけます類を含む生鮮冷凍水産物が6万8千トンと大半を占めています。そのほか、冷凍食品は1万2千トン、塩蔵品や塩干品といったその他の食用加工品が4千トンとなっています。

表 2-1-20 岩手県の水産加工生産量(平成 27 年)

区分	冷凍食品	その他の食用加工品	生鮮冷凍水産物					合計
			計	イカ類	サンマ	サケ・マス類	その他	
数量（トン）	12,240	4,061	68,059	8,102	14,802	9,354	35,801	84,360

※本データは、岩手県の水産加工品を生産する陸上加工経営体を加工種類別に生産量の大きい順に配列し、上位の経営体から順に合計した生産量が県の生産量の85%を超えるまでの陸上加工経営体を調査した結果を用いている。

資料 - 東北農林水産統計

また、釜石市内の加工工場数については、震災前後で大きな変化は見られませんでした。従業員数は増加傾向にあり、平成 25 年は 17 の工場において 637 人の従業員数となっています。

しかし、各加工場においては、事業拡大に伴う必要従業員数が集まらない、震災後の再募集に対して応募者がいないなど、従業員の不足が報告されております。

冷蔵能力は縮小傾向にあり、平成 25 年の冷蔵能力は平成 15 年時の約 6 割に低下しています。1 日当たりの凍結能力は、平成 25 年では平成 15 年時の約 3 倍となっています。

表 2-1-21 水産加工場、従業員数、冷蔵冷凍能力の推移

	工場数	従業員数	冷蔵能力（トン）	1日当たりの凍結能力（トン）
平成15年	16	470	23,056	193
平成20年	18	493	21,036	203
平成25年	17	637	14,440	567

資料 - 漁業センサス

7. 漁港・漁場・漁村整備

釜石市内には市管理の第1種漁港の9漁港、県管理漁港である第2種漁港の5漁港及び第3種漁港1漁港の15漁港があり、震災後の災害復旧により概ね整備が完了しました。また、釜石市内には漁港背後集落が点在し、それらの漁村の復旧についても居住地の整備や被災した低地を活用した水産関係用地の整備なども概ね整備が完了しました。

各漁村の前浜で営まれる養殖業や採介藻漁業などの漁場についても、がれき撤去や養殖施設の整備により復旧しています。

釜石市内には、市が管理する第1種漁港が9港、県が管理する第2種漁港が5港、同じく県が管理する第3種漁港が1港の計15港があります。これらの漁港も大きな被害がありましたが、震災後の災害復旧工事により、復旧工事が概ね完了し、漁港機能の充実や強化を図っています。

釜石市内に存在する漁村の復旧には、被災した住宅の高台への移転先を整備するため、防災集団移転事業(国交省)を活用し、集落道や漁具や資材を保管する水産関係用地を整備するため、漁業集落防災機能強化事業(水産庁)を活用し、復旧を進めています。

表 2-1-22 釜石市内の漁港、漁村の概要

漁港指定	漁港名	登録漁船数 (隻)	属地陸揚量 (t)	属地陸揚金額 (百万円)	漁港地区人口 (人)	漁協組合員数 (人)	漁業経営体数 (経営体)
3種	釜石漁港	45	9,194	1,929	1,723	80	59
2種	小白浜漁港	167	1,195	161	1,036	211	26
	唐丹漁港	124	1,049	114	610	156	47
	両石漁港	105	235	93	370	124	114
	白浜(鶉住居)漁港	82	237	101	279	136	124
	箱崎漁港	192	180	92	578	143	124
1種	大石漁港	32	2	18	100	33	8
	佐須漁港	50	171	60	89	55	24
	白浜(釜石)漁港	120	464	167	294	157	88
	平田漁港	102	180	114	1,226	204	152
	嬉石漁港	35	0	1	1,625	76	662
	桑ノ浜漁港	26	1,939	46	80	33	27
	仮宿漁港	24	55	34	62	26	19
	片岸漁港	21	15	11	399	27	27
室浜漁港	23	6	7	92	36	35	

資料一 漁港港勢調査 (H25)

8. 漁業・漁村における6次産業化への取組

釜石市では、岩手大学と地元漁協女性部の連携により、釜石産水産物の付加価値向上及び消費拡大に向けた魚食普及活動を進めています。これらの取組を契機として、産官学連携の活性化、水産業の6次産業化、生産現場の活性化を目指しています。

岩手県は、女性が中心となって食文化の伝承や発信、産直での農林水産物の直売・加工が従来から行われてきました。この活動がもととなり、農林漁業者や生産法人、協同組合などが連携して商品開発や販売を行う取り組みが広がりつつあります。

県も6次産業化の推進に向け、6次産業化支援事業センターによる相談対応、研修会や交流会の開催、県内外における食の相談会への参加の機会を提供しています。

しかし、6次産業化・地産地消法に基づく事業計画の認定件数が増えないなど、農林漁業者個々での取り組みには限界があるというのが現状です。そのため、業種問わず地域が一体となって商品開発・加工技術の充実や県内外の販路開拓・確保、産直における食の拠点機能の強化、担い手の確保などに取り組んでいくことを課題に据えた「いわて6次産業化推進プラン」が計画されています。

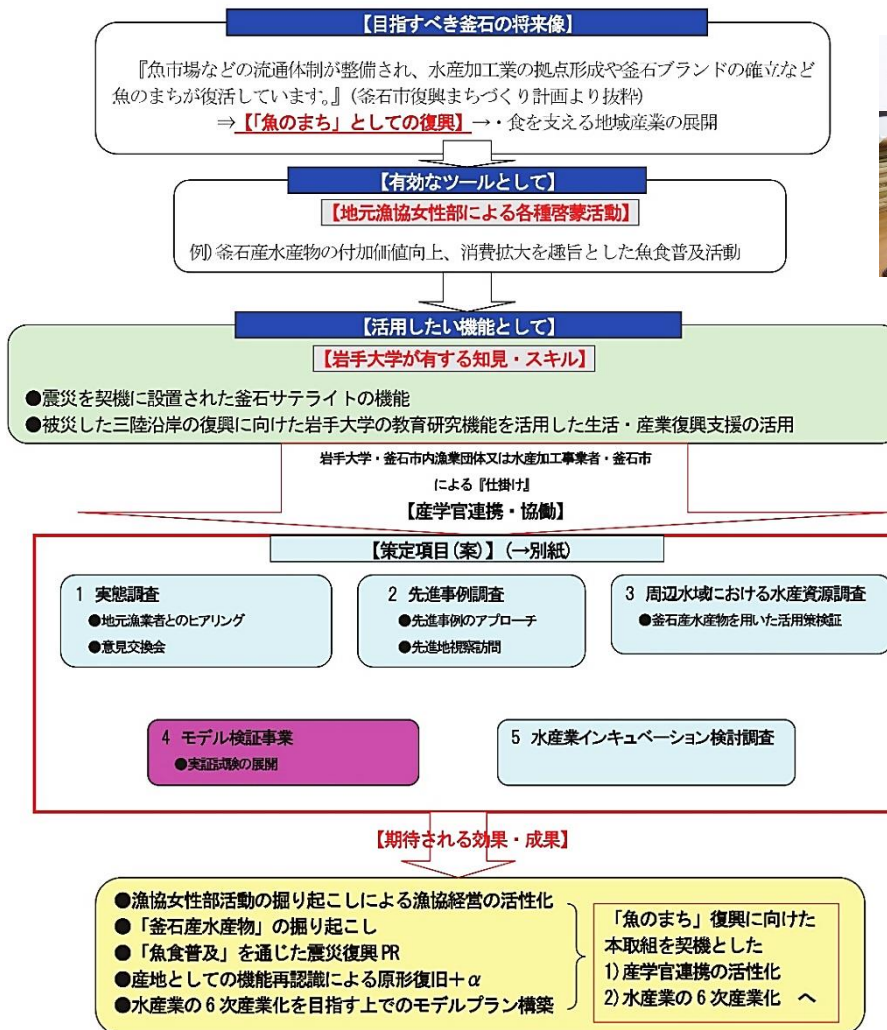


図 2-1-29 岩手大学と地元漁協女性部の連携、漁協女性部のレシピ（唐丹漁協女性部）